

○学校運営

項目	評価項目	保護者評価	教員評価	自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ
学校教育目標	1 互いに認め合い、自分で判断し、行動できる生徒を育成している。	2.9	3.3	3.0	3.0
	【成果】 スクールカウンセラー講話、個別の教育相談等、年間計画に位置づけ計画的に開催することができた。 【課題】 自己有用感が低い生徒も見られる。 【改善の方策】 学校生活や行事、部活動などにおいて、生徒が主体的に活動できる場を設け、自己有用感を向上させる。			コメント	
	2 自主的で責任感をもって物事に取り組む生徒を育成している。	3.2	3.2	3.3	3.3
	【成果】 学校行事（とくに学校祭）では、自分の役割だけでなく他者と協力し、目標達成のために主体的に努力できる生徒が増えた。 【課題】 自主的かつ主体的に行動できる生徒が多くない現状である。 【改善の方策】 個人面談等を通し、生徒の特性を見極め、教職員支援のもと生徒が主体的に活躍できる場を援助する。			コメント	
	3 地域を理解し貢献していこうとする生徒を育成している。	3.0	3.3	3.0	3.0
【成果】 「総合的な探究の時間」では、関係機関と連携を深め実施することができた。また、部・局の活動では、地域貢献や中学校との連携が図られている。 【課題】 教員の地学協働への意識を高めていくとともに、3年間を見通した地域資源を活用したキャリア教育の実現。 【改善の方策】 研修等を通し、教職員へ「社会に開かれた教育課程の実現」、「地学協働の理念」等を意識づけ、地域との連携をさらに深める。			コメント		

○教育活動

	質問項目	保護者評価	教員評価	自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ
学習指導	1 自ら学ぶ姿勢を生徒に身につけさせるため、適切な課題を与え、家庭学習の充実に努めている。 【今年度の取組】 ICTによる課題（Google Classroom、スタディサプリ）	3.0	3.4	3.5	3.0
	【成果】 各教科で ICT 活用を通し、生徒個々の学力状況に対応した学力の伸長を果たすことができた。（個別最適化の授業実践） 【課題】 ICT の効果的な活用と深い学びや探究的な学びにつなげるため、一層の授業改善が必要である。 【改善の方策】 教員の力量形成のため、深い学び、探究的な学びについて管理職による授業参加と助言、研修等の意欲的な参加を促す。			コメント	
	2 生徒の学力・学習の状況を把握し、個に応じた指導を適切に行っている。 【今年度の取組】 管理職による授業参観、教員の力量形成（互見授業、地域連携研修講演会、他校視察、授業研究セミナー等への参加、教科会議）	2.9	3.3	3.0	3.0
	【成果】 生徒の学習意欲の向上につなげるために、放課後学習の計画的な実施、生徒の学びの到達度の的確な把握、個人面談等の好循環を生み出し授業改善に努めた。 【課題】 生徒の学力が多様なため、生徒の実態に即した授業改善や生徒理解を深めた方策で柔軟に対応する必要がある。 【改善の方策】 面談や授業参観、教科会議等を通し、生徒の特性を把握し、授業改善を行う。			コメント	
	3 考査や普段の取組などをもとに適切に評価を実施している。 【今年度の取組】 評価会議、観点別学習状況評価に係る研修と実践・検証	3.0	3.3	3.0	3.3
【成果】 教科会議、観点別学習状況評価に係る研修と実践・検証を通し、おおむね適切に評価がなされている。 【課題】 指導と評価の一体化について一層の理解と実践が必要である。生徒の学習意欲の向上につながる評価の在り方についての共通認識も必要である。 【改善の方策】 教科会議や研修等を通し、評価の信頼性及び妥当性について知見を深め、生徒、保護者等に十分に説明責任が果たせるよう学校として共通認識を持つ。			コメント		
生徒指導	4 生徒の規範意識や他者を認める意識を高め、安全で安心して学べる環境が保たれている。 【今年度の取組】 臨場指導、スクールカウンセラー事業、生命の安全教育	3.0	3.3	3.0	3.0
	【成果】 各種講話や教育相談等を通し、他者を認める心や協調性、規範意識を高める指導の充実ができた。 【課題】 生徒間の何気ない発言や SNS によるトラブルが見られる。 【改善の方策】 生徒事故の未然防止の視点に立ち、外部講師の専門性を活かした講話や計画的な教育相談週間を設け事故防止に努める。			コメント SNS の活用が多岐にわたっている社会において、トラブル防止の一層の指導をお願いする。	

○教育活動

	質問項目	保護者評価	教員評価	自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ
生徒指導	5 学校行事や部局活動へ主体的に取り組むことができる環境がつけられている。 【今年度の取組】学校祭、高体連・高文連壮行会、体育大会	3. 2	3. 3	3. 3	3. 3
	【成果】小規模校ながら、学校行事では生徒会が主体的に運営に当たり、生徒、教員が一体となって楽しんで参加している。また、部活動では67%の加入率でボランティア局と兼ねている生徒も多くいる。 【課題】今後、部活動の地域移行の在り方についての検討が必要である。 【改善の方策】部活動の地域移行について、保護者への意見聴取や道教委、町教委等との連携や情報収集に努め、本校の方向性を検討する。	コメント			
	6 保護者と情報を共有し、いじめや問題行動などに適切に対応している。 【今年度の取組】いじめアンケートの実施、いじめ防止基本方針の見直し、いじめ対策委員会の活用	2. 6	3. 4	3. 0	3. 0
	【成果】生徒個々との面談やいじめの実態調査を行いいじめの把握に努めるとともに、積極的ないじめの認知を行い組織的に対応している。 【課題】いじめに関する本校の取組について、生徒・保護者に浸透させる必要がある。 【改善の方策】本校のいじめに関する取組について、LHR やPTA 総会を活用し、リーフレット等を用いて説明する機会を増やす。	コメント			
進路指導	7 生徒一人一人の能力・適性を把握し、進路希望を踏まえた指導を行っている。 【今年度の取組】進路希望調査、模試の計画と実施、進学講習	3. 1	3. 3	3. 5	3. 5
	【成果】定期的な進路希望調査の実施、計画的な模試や講習、担任等との進路面談等、生徒の進路実現に向け効果的な進路指導ができています。 【課題】学力層が多様な生徒がいるなかでの選抜制の高い大学等、高い学力を求められる生徒への指導と進路実現の方策の工夫が必要である。 【改善の方策】スタディサプリや遠隔講習等を活用しながら進路希望にあわせた取組を行う。	コメント			
	8 地域教育活動を効果的に実施し、社会人や職業人としての意識を高められている。 【今年度の取組】浜頓別町キャリア教育講演会、インターンシップ、職業分野説明会、進路説明会	3. 2	3. 2	3. 3	3. 3
	【成果】地域の関係機関と連携し、各種講演会や説明会、インターンシップを実施することができた。また、地域巡検等を通し地域探究活動を行った。 【課題】生徒の要望を加味しながら、インターンシップ実施に係る浜頓別町、中頓別町以外の事業所の新規開拓を検討する。 【改善の方策】関係町村の商工会、漁組、役場等に協力いただきながら生徒の進路希望等に沿った事業所を開拓する。	コメント			
	9 進路に関する情報を提供し、生徒の進路に対する意識を高められている。 【今年度の取組】進学相談会、高校内企業説明会、進路ガイダンス	3. 1	3. 5	3. 3	3. 3
【成果】関係機関と連携し、各種相談会、説明会を実施できた。 【課題】各種進路行事の開催時期等の精査 【改善の方策】生徒にとって進路実現に役立つ進路行事か、今年度の実施状況について評価・改善し、次年度に向け実りある進路行事になるよう精査する。	コメント 生徒に働くことの意義等を指導いただきたい。				
健康・安全指導	10 防災や防犯、交通安全に係る適切な教育を実施し、生徒の安全に配慮した判断力や行動力を高めている。 【今年度の取組】1日防災学校、交通安全講話、防犯教室、避難訓練、祭典巡視	3. 2	3. 6	3. 0	3. 0
	【成果】各種講話や体験活動を通し、生徒の健康安全、防犯等の意識を高めることができた。 【課題】社会情勢の変化に伴う新たな危機が想定されるので、危機管理マニュアルの精査と改訂が必要である。 【改善の方策】常に不測の事態を想定し、生徒及び教職員の危機管理意識を高めるとともに、実態に即した危機管理マニュアルを策定する。	コメント			
	11 生徒の健康や安全について適切に情報提供や指導を行い、生徒の健康に対する意識を高めている。 【今年度の取組】定期検診、健康相談、熱中症予防指導、保健だより	3. 1	3. 4	3. 0	3. 3
【成果】外部講師の専門性を活かした保健指導の充実を図ることができた。 【課題】本校生徒の実態として様々な特別な配慮を必要とする生徒が入学するなかで、当該生徒への対応に苦慮している。 【改善の方策】保護者との連携、関係機関からの助言等を総合的に勘案し、配慮が必要な生徒へのサポートを充実させる。	コメント 生徒の心身の健康指導の充実を図る。				
保護者連携	12 広報やホームページなどを通して本校の教育活動に係る情報を発信するとともに、地域の声に耳を傾けている。 【今年度の取組】学校HPの適宜更新、浜高だより、PTAだより	3. 0	3. 3	3. 0	3. 3
	【成果】定期的に通信の発行、ホームページにタイムリーな話題を随時更新するとともに、本校の情報発信に努めた。 【課題】保護者や地域の方に学校の教育活動の様子が伝わっていない部分がある。 【改善の方策】保護者や地域社会との連携をさらに深めるため、さらにこまめな情報発信を行う。	コメント			

○教育活動

	質問項目	保護者評価	教員評価	自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ
保護者連携	13 PTA 活動や地域との交流は多くの保護者や教職員が参加できる活動になっている。 【今年度の取組】PTA 役員会、PTA 総会、保護者面談、学校祭出店、強歩遠足協力	2.9	3.3	3.0	3.0
	【成果】学校祭をはじめ各種の学校行事に対し、保護者のご理解・ご協力を得られている。 【課題】保護者の本校への協力が負担にならないための工夫や参加率向上の方策を考えなければならない。 【改善の方策】学校行事等を通し、保護者が学校や生徒の様子を見ていただくよい機会という認識のもと、今後も情報発信を行い、継続的に協力をお願いする。			コメント 一層の本校の行事等への保護者の協力を期待する。	
働き方改革	14 本校は、勤務時間を意識した働き方改革の取組ができています。 【今年度の取組】勤務時間縮減、ワークライフバランス週間の設定、年休取得の奨励、勤務時間の割振		2.8	3.0	3.0
	【成果】教員の超過勤務時間は経年比較で減少傾向にある。また、部活動休養日の設定及び実施は、全ての部活動・局において遵守されている。 【課題】特定の教員に超過勤務時間が継続的に多い実態があるため、管理職の一層の業務マネジメントが必要である。 【改善の方策】コミュニケーションを大切に、各自の業務量を把握し、協働体制の実現を図るとともに、風通しの良い職員室づくりをこれからも行う。			コメント 教職員の一層の働き方改革の推進と心身の健康に留意いただきたい。	

学校関係者評価の指標

【自己評価の適切さに対する指標】

- | | |
|----------------|---------------|
| 4 適切な評価である。 | 3 ほぼ適切な評価である。 |
| 2 やや不適切な評価である。 | 1 不適切な評価である |

【改善に向けた取組の適切さに関する指標】

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 4 十分な効果が期待できる。 | 3 ほぼ十分な効果が期待できる。 |
| 2 あまり効果が期待できない。 | 1 まったく効果は期待できず、改善を要する。 |